

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 広島県 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	尾道市立向島中学校 【講話】全校生徒 1年生94名 2年生103名 3年生113名 計310名 【実技指導】1年生 男子44名 女子50名 計94名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (保健体育科) ② 行事名 (オリンピアンによる講演会および実技講習会)
4 目標 (ねらい)	・オリンピック・パラリンピックの意義と歴史を学び、さらにオリンピック競技の一つを体験することにより、東京2020年大会への興味を喚起する。 ・東京2020大会がスポーツだけに限らず文化や環境保全的な役割も担い、東京や日本の発展だけでなく、世界に強くメッセージを発信することを目指していることを理解し、国民として自分がどう関わっていけるかを考えさせる。
5 取組内容	○保健体育科の授業において事前学習 (1) 体育編 2項目 「国際的なスポーツ大会が果たす文化的な役割」 「人々を結びつけるスポーツの文化的なはたらき」 自作DVD等の視聴覚資料を活用した学習 「オリンピック・パラリンピックの意義と歴史」 「東京2020年大会が目指すこと」 ○講演会及び実技講習会 講師：市橋 有里 元マラソン選手 (セビリア世界陸上女子マラソン銀メダリスト、シドニーオリンピックマラソン日本代表) 演題 「チャンスをつかむ3つの方法」 実技 「走競技」 ○事後の取組 (1) 事後アンケートを実施し、生徒の意識を把握する。 (2) 体育の授業に「走る活動」を取り入れる。 (3) 総合的な学習の時間における国際理解についての学びと関連付ける。

6 主な成果

(1) 生徒のオリンピック・パラリンピックに関する興味・関心が高まった。

項目	非常に思う・ ややそう思う
2020 年東京大会に対する理解・関心が高まった。	94.4%
スポーツの意義や価値に対する理解・関心が高まった。	93.3%
生涯にわたってスポーツに対して自ら進んで参加したいと思う。	84.3%
スポーツを通して、行動する力、人間関係の構築ができるかと思う。	95.8%
試合会場に行って観戦したい	27.6%
自宅のテレビなどで観戦したい	54.3%

(2) 講師のお話と実技指導から刺激を受け、学びが得られた。

【生徒の感想】

- 市橋先生が言われていた、「出会いを大切にすること」「感謝の気持ちを持つこと」「集中すること」を大切にして、これからの生活や行動に反映したいと思った。
- 目標を大きく、高く設定することで、もっと上を目指していきたいと思うような「志」を持つことができました。
- 人よりも1分1秒でも多く努力することが、夢をかなえることにつながるということが分かりました。私も努力していきたいです。
- 市橋さんは、大変な思いをされたけど、それを乗り越えて自分の夢を叶えられてすごいと思いました。自分も夢を大きく広く持って、これから過ごしたいと思います。
- 市橋さんは、「くやしくて、挫折した時は、とにかく走っていました」と言われていた。あきらめないことは大切だと思いました。
- お話を聞いて、オリンピック・パラリンピックに興味湧いてきた。見てみたい、行ってみたいと思いました。
- 2年後に東京でオリンピック・パラリンピックが開催されると思うとワクワクしてきた。自分の国で開催されることは、すごいこと感じた。テレビなどで観戦したい。
- スポーツが得意ではないけど、市橋さんのお話を聞いて、これからは、楽しんでスポーツをしようと思った。



<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>事前学習 (1) 保健体育科の授業で、オリンピック・パラリンピックについて学習し、授業と行事を関連付けることで、効果的な取組となった。 (2) 各クラスで講師の紹介をするなどして、生徒の関心を高めた。</p> <p>当日 「講演会」と「実技講習会」の二本立てとした。世界で活躍した選手の体験談を聞くことに加えて、すぐ間近で一流の技術にふれる体験をすることで有意義な時間を過ごすことができた。講演の内容も中学生が共感できるものであり、生徒は集中して聞くことができた。</p> <p>(3) 事後の取組 オリンピック・パラリンピックが世界的な行事であることを手掛かりとして、総合的な学習の時間の国際交流と関連づけて、国際理解の学びを深めるようにした。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>「自分がどう関わっていくか」を深めること。 今回の事前から当日、事後の取組では、具体的に東京大会に自分がどう関わることができるかについて、十分深めることができなかった。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>○総合的な学習の時間で異文化を理解し、多様な生き方・考え方を受け入れられる授業を展開していき、オリンピックの精神の理解を深めていく。 ○スポーツは「行う(する)」だけでなく、「見る」、「支える」場面で活躍できるということを体育の授業で伝えていく。 ○生涯にわたってスポーツを楽しむことの大切さ学ばせていきたい。</p>